



糖尿病の内服薬

正しい薬の飲み方・どんなお薬があるの？

2026. 9. 11 薬剤部



内容

① 薬の正しい使い方

② 糖尿病の薬はどんなものがあるの？

お薬を飲むとき、
どんな飲み物で
飲んでいますか？

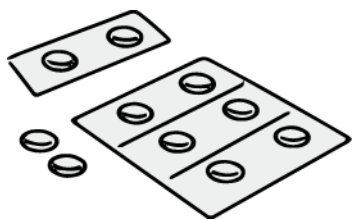
病院でお渡しするお薬は、医師が
患者さんの状態に合ったものを選んでいます。

自己判断で量を変えたりせずに
決められた薬の量を守りましょう。

また、お薬には様々な飲み方があります。
お薬を飲むタイミングが効果に影響するものもあるため、決められた飲み方を守りましょう。



薬を飲むタイミング
守っていますか？



薬の飲み方

- コップ半分から1杯程度（約200mL）の水又はぬるま湯と一緒に服用します。
- 水以外の飲み物では、十分に効果が得られないことがあるため水で服用してください。
- 錠剤を勝手につぶしたり、カプセルをはずしたりしないでください。



薬を飲むタイミング

起 床 時	起床した後すぐ
食 前	食事の30分くらい前
食 直 前	食事の直前（お箸を持つ直前）
食 直 後	食事のすぐ後（お箸を置くと同時）
食 後	食事の後30分以内
食 間	食事のおよそ2時間後（食事中ではない）
就 寝 前	寝る直前か30～60分前
時 間 毎	食事に関係なく指示された時間毎

薬を飲み忘れたとき



- 次の服用時に2回分をまとめて飲んではいけません
- 薬の作用、使用目的を確認しましょう

食後高血糖を抑える目的のお薬は食直前に服用しないと効果がありません

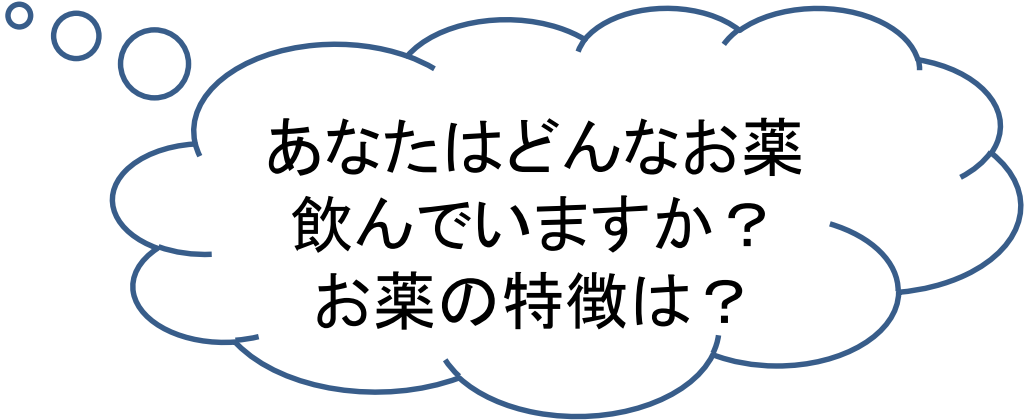
食事の後に飲み忘れたことに気づいても服用しないことが原則です



内容

① 薬の正しい使い方

② 糖尿病の薬はどんなものがあるの？



あなたはどんなお薬
飲んでいますか？
お薬の特徴は？

ブドウ糖の流れとインスリンの働き

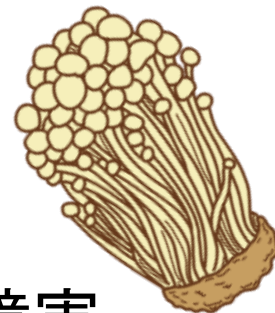


糖尿病で血糖値が上がる仕組み





合併症の症状



細小血管障害

細い血管が障害されて血流が悪くなると…

し

神経の障害

手足のしびれ→壊疽

め

目の障害

網膜症→失明

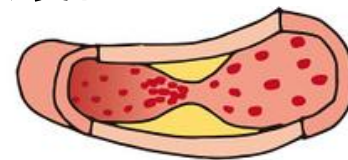
じ

腎臓の障害

腎症→透析

大血管障害

太い血管で動脈硬化が進行すると…



え

壊疽

の

脳梗塞

き

虚血性心疾患

心筋梗塞

血糖コントロール 目標

※コントロール目標値 注4)			
目 標	血糖正常化を 目指す際の目標 注1)	合併症予防 のための目標 注2)	治療強化が 困難な際の目標 注3)
HbA1c (%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

※コントロール目標値はありますが、医師が個別に設定

HbA1c・・・過去1～2カ月の血糖の平均値を反映する検査値

糖尿病治療の基本・・・食事療法と運動療法
血糖コントロールが不十分の場合は薬剤追加



高齢者の血糖コントロール目標

患者の特徴・ 健康状態 ^{注1)}		カテゴリーI		カテゴリーII	カテゴリーIII
		① 認知機能正常 かつ ② ADL自立		① 軽度認知障害～軽度 認知症 または ② 手段的ADL低下, 基本的ADL自立	① 中等度以上の認知症 または ② 基本的ADL低下 または ③ 多くの併存疾患や 機能障害
重症低血糖 が危惧され る薬剤(イン スリン製剤, SU薬, グリ ニド薬など) の使用	なし ^{注2)}	7.0%未満		7.0%未満	8.0%未満
	あり ^{注3)}	65歳以上 75歳未満 7.5%未満 (下限6.5%)	75歳以上 8.0%未満 (下限7.0%)	8.0%未満 (下限7.0%)	8.5%未満 (下限7.5%)

※コントロール目標値はありますが、医師が個別に設定

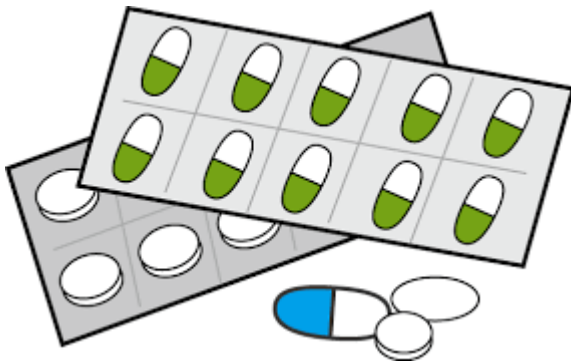
年齢、罹病期間、低血糖の危険性、サポート体制
＋
認知機能、基本的ADL、手段的ADL、併存疾患なども考慮

糖尿病の薬は

大きく分けると

①内服薬

8種類



②注射薬

2種類





糖尿病の内服薬



インスリンの分泌を促す

- ①スルホニル尿素(SU)薬
- ②速効型インスリン分泌促進薬
- ③DPP4阻害薬
- ④GLP-1受容体作動薬

インスリンの効きを良くする

- ⑤ビグアナイド薬
- ⑥チアゾリジン薬

ブドウ糖の吸収を遅らせる

- ⑦ α グルコシダーゼ阻害薬

ブドウ糖の排出を促す

- ⑧SGLT2阻害薬

インスリンの分泌を促す

①スルホニル尿素(SU)薬(グリメピリド)

②速効型インスリン分泌促進薬(ナテグリニド)

➤ 直接膵臓に作用してインスリンの分泌を促します

①スルホニル尿素薬

- 作用時間が長い
- 体重が増加することがあります



②速効型インスリン分泌薬

- 食後高血糖を改善します
- 服用後すぐに効果が現れるため**食直前**に服用します
- ❌ 飲み忘れたからといって食後に服用しないように



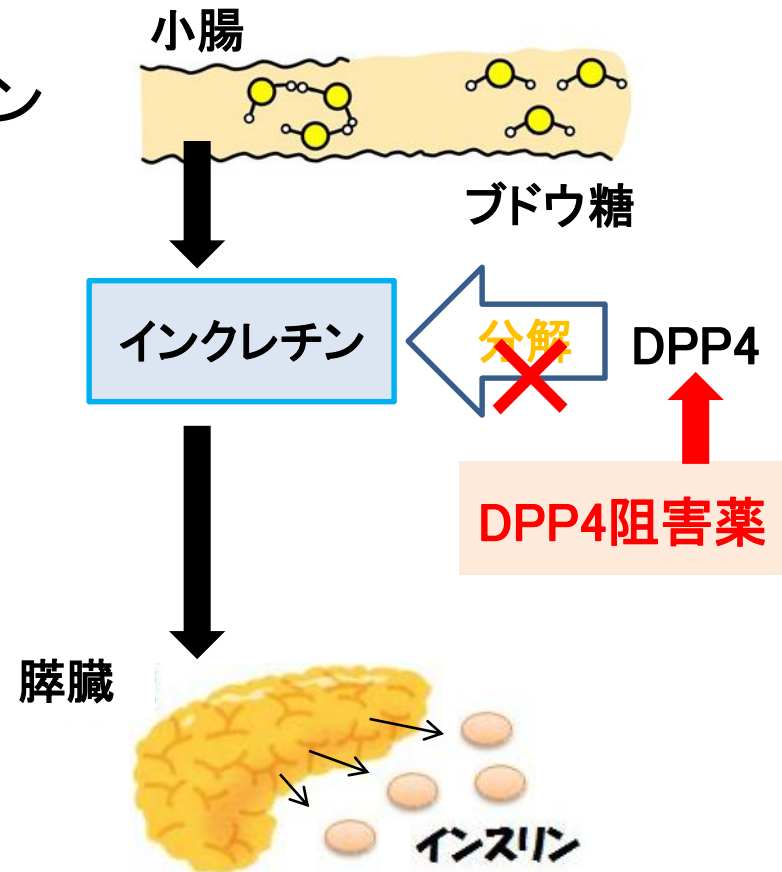
インスリンの分泌を促す

③DPP4阻害薬(トラゼンタ)

➤ インスリンの分泌を促すインクレチンというホルモンの分解を防ぐことで結果的に血糖値を下げます



インクレチンは小腸に糖分があるときにだけ分泌されます
そのためDPP4阻害薬は低血糖を起こしにくいお薬です



インスリンの分泌を促す

④GLP-1受容体作動薬(リベルサス)

- 膵臓に働きかけ、血糖値が高い時のみ
インスリンの分泌を促進し血糖値を下げます



リベルサス®の服用方法



空腹時(1日の最初の飲食の前)に服用してください。
起床時がおすすめです。

1日の最初の
飲食前



1錠をコップ約半分の水(約120mL以下)とともに服用してください。



服用後に、飲み物を飲んだり、食事をしたり、他のお薬を服用する場合は、少なくとも**服用後30分経ってから**にしてください。

1日1回起床時 1錠をコップ半分の水で服用
服用後、少なくとも30分飲食禁止

インスリンの効きを良くする (インスリン抵抗性の改善)

⑤ ビグアナイド薬 (メトグルコ)

- インスリン抵抗性を改善することで血糖値を下げる他、肝臓に作用して糖新生を抑制する作用もあります

糖新生：肝臓が新たに糖を合成すること

- ヨード造影剤を使う検査を行う予定があるときは必ず医師へ伝えてください

⑥ チアゾリジン薬 (ピオグリタゾン)

- インスリン抵抗を改善します
- 体重増加やむくみが現れることがあります



ブドウ糖の吸収を遅らせる

⑦ α グルコシダーゼ阻害薬 (ボグリボース)

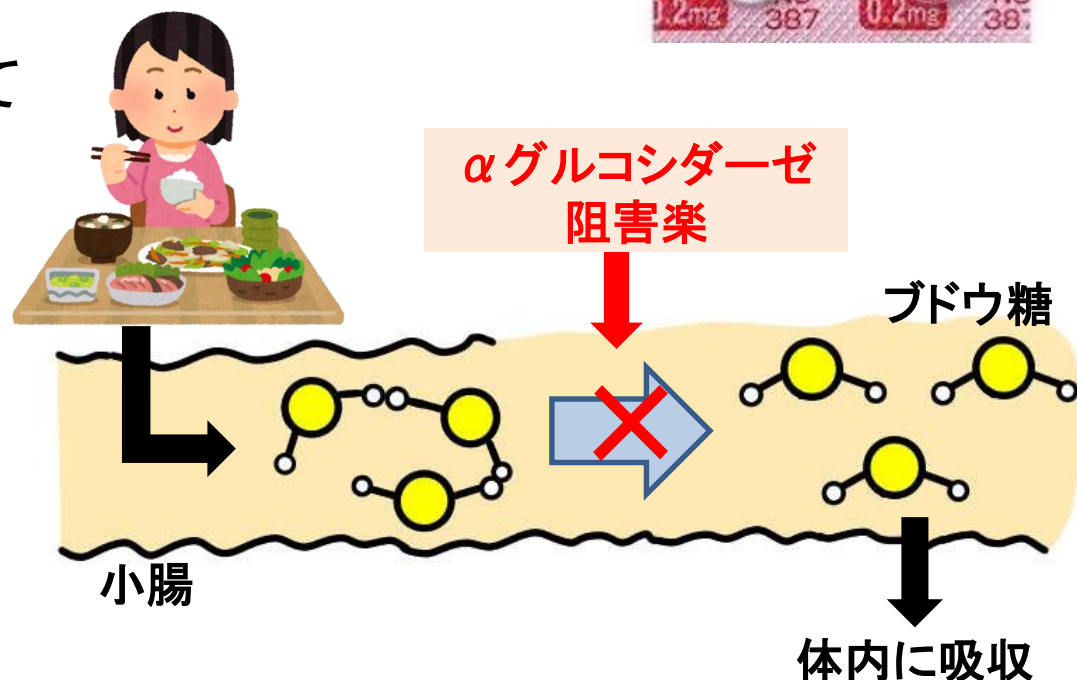
➤ 食事で摂った糖분을ブドウ糖に分解する
酵素を邪魔することで食後高血糖を改善します

➤ **食直前**に服用します

※ 飲み忘れたからといって
食後に服用しないように



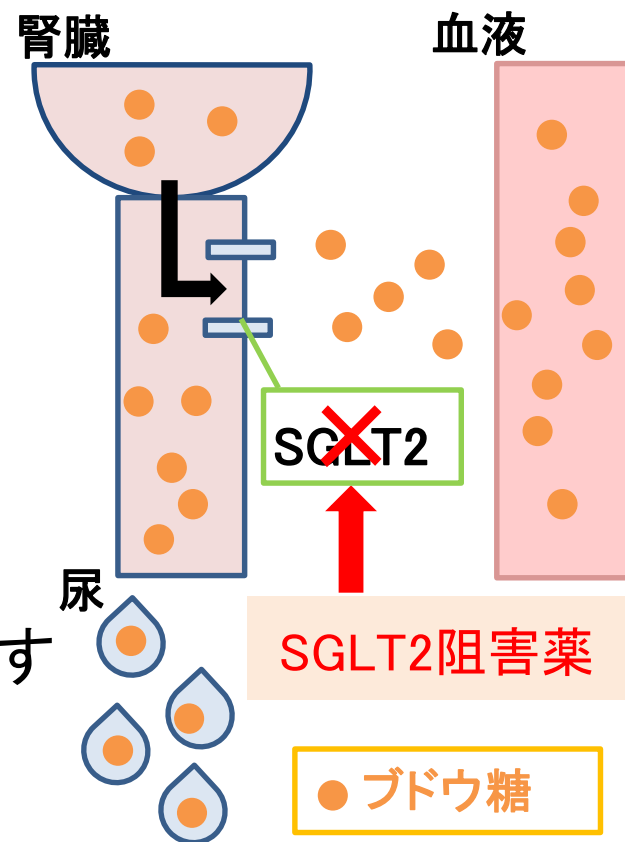
低血糖になったら...
必ず**ブドウ糖**を摂りましょう



ブドウ糖の排出を促す

⑧SGLT2阻害薬(フォシーガ)

- 腎臓から血液中へブドウ糖を再吸収する役割をしているSGLT2を邪魔することで、尿としてブドウ糖を排泄し血糖値を下げる作用があります
- 体重減少が期待されます
- 尿路感染症が起こる可能性があります



自分の飲んでいる薬を 分類してみよう！

インスリンの分泌を促す

- ①スルホニル尿素(SU)薬
- ②速効型インスリン分泌促進薬
- ③DPP4阻害薬
- ④GLP-1受容体作動薬

インスリンの効きを良くする

- ⑤ビグアナイド薬
- ⑥チアゾリジン薬

ブドウ糖の吸収を遅らせる

- ⑦ α グルコシダーゼ阻害薬

ブドウ糖の排出を促す

- ⑧SGLT2阻害薬

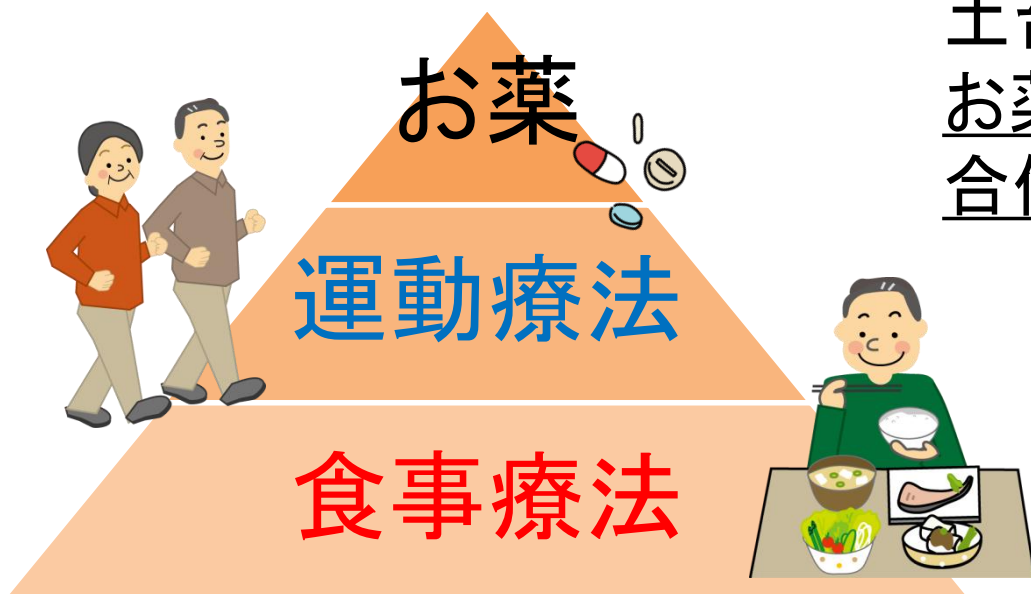
復習

- ①お薬は約コップ1杯のお水で服用しましょう
 - ②飲み忘れた時は2回分をまとめて服用してはいけません
 - ③決められたお薬の量、服用するタイミングを守りましょう
- * 勝手に薬を減らしたり、増やしたりしないこと

糖尿病治療の基本は

食事療法と**運動療法**です！

どんなに良い薬でも、**食事療法**・**運動療法**をしっかりと行わなければ薬の効果も半減してしまいます



土台をしっかりと作った上で、お薬を正しく使うことによって合併症を防ぎましょう

